

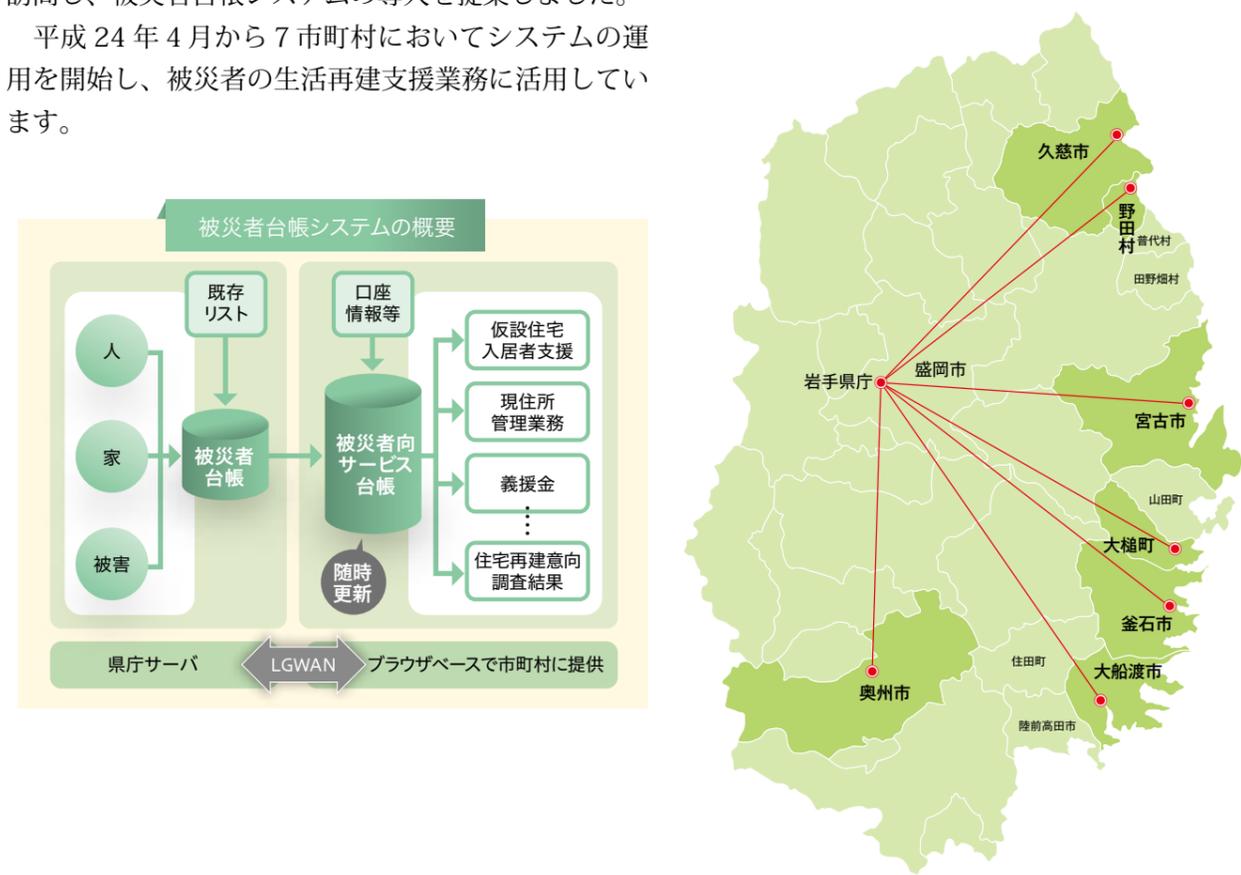
取組項目 No.13 被災者台帳システムの整備・運用

〔取組概要〕

- 発災直後の岩手県の沿岸市町村では、庁舎や職員自身が被災するなど行政機能が著しく低下する中、災害応急復旧、避難所運営等数多くの業務を行う必要があり、被災者情報の適切な把握、管理ができず、被災者の生活再建支援業務に支障を来すことが懸念されました。
- これらの状況を踏まえ、広域行政を担う県が、被災市町村の行政機能の回復支援を行うとともに、被災者への直接支援を行うため、京都大学、新潟大学を中心とする支援プロジェクトチームの協力を受け、過去の被災自治体で活用実績のある「被災者台帳システム」の導入を進めました。
- 被災者台帳システムを導入した市町村では、業務の効率化が図られるとともに、個々の被災世帯のり災状況や支援の実施状況、今後の住宅再建の意向などを把握することにより、支援が必要な世帯を特定することが可能となり、被災者へのきめ細かな生活再建支援が可能となりました。
- 一方で、発災後にシステムを導入したため、住民基本台帳や課税台帳等の被災者の基本データのほか、り災証明書や義援金の支給など、既に進められている業務のデータをシステムに登録するための作業に膨大な時間を要するなどの問題も生じました。
- このような岩手県での取組実績を踏まえ、被災者支援を迅速かつ効率的に実施可能な被災者台帳システムを、災害発生に備え平常時から整備しておくことが有効です。

取組事例① 被災市町村への被災者台帳システム導入について

岩手県及び支援プロジェクトチームが被災市町村を訪問し、被災者台帳システムの導入を提案しました。
平成24年4月から7市町村においてシステムの運用を開始し、被災者の生活再建支援業務に活用しています。



取組事例② 被災市町村の知見の被災者台帳システムへの反映について

岩手県及び支援プロジェクトチームが定期的に市町村を訪問し、システムの運用支援を行うとともに、意見交換会や意見交換サイト等の活用によりシステム利用者の意見を集約のうえ、随時、システム改修を実施しています。



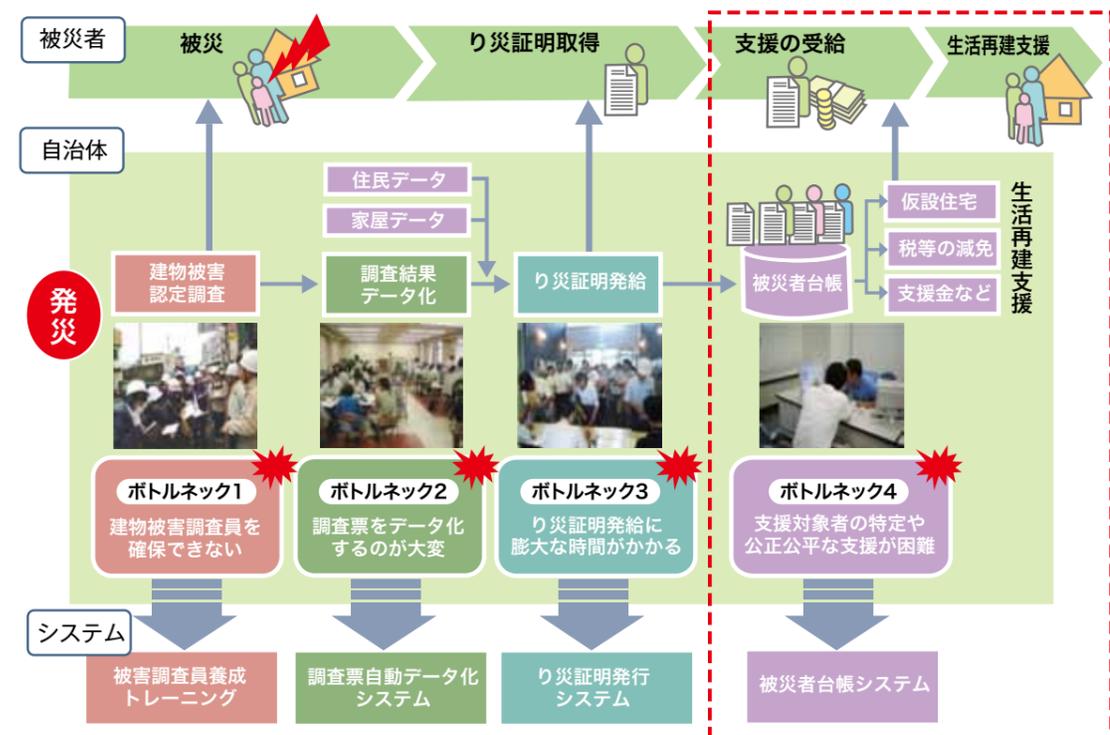
システム導入市町村の意見交換

ID	カテゴリ	件名	本文	投稿日時	市町村
45	台帳全般について	被災者台帳システム導入に伴う変更について	システム改修作業のための期間限定サービス(6/4停止しますのでお知らせします。平成24年6月23日(月:休日)から24日(火)...	2013-09-06 10:40:42	岩手県
64	台帳全般について	被災者台帳システム	大槌町です。昨日、登録のあった業務データの再登録作業ですが、サーバー側にて完了しました。以下、報告させていただきます。	2013-09-07 9:43:04	支援チーム
63	台帳の機能について	被災者台帳システム	です。初めから質問で恐縮ですが、手持ちの書式データでUP、Load and DLして、それにバグ...	2013-05-22 17:15:26	大槌市

取組事例③ 新しい被災者台帳システムの構築について

現在岩手県で運用しているシステムをベースに、被災者支援業務の更なる効率化を図るとともに、今後の大規模災害の発生に備え、新たなシステムの構築を検討しています。
東日本大震災での教訓を踏まえ、「り災証明書発行」から「生活再建支援」まで、総合的に対応可能なシステムを全県的に導入することとし、平成27年度からの運用開始を予定しています。

【岩手県が整備を進めている新しい被災者台帳システムの全体像】



※ 現在、岩手県で運用しているシステム